

## 中国法定感染症発病概況 2019 年 2 月

The Japan Research Institute (Shanghai) Solution Co., Ltd.  
リサーチ・コンサルティング部門

### ■発病総数は例年より若干多い

当月発病総数は715,176件であり、前月比-37.5%。過去平均（過去3年の同月および前後月の9カ月平均）比では+31.4%で、過去平均標準偏差（SD）+1.5であり、総数としては例年より若干多い（図表1）。

### ■乙類が例年より少なく発生し、丙類は例年より非常に多い

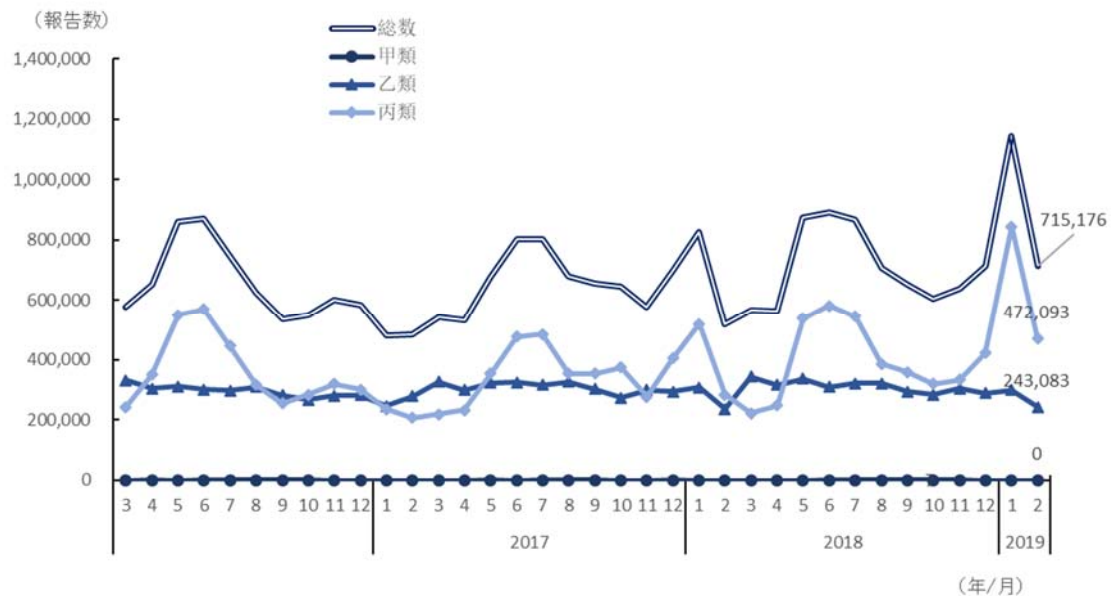
類型（甲乙丙）別\*では、甲類は0件。

乙類は243,083件（前月比-18.7%）、過去平均比-15.2%、過去平均SD-1.1と例年より若干減少。

丙類は472,093件（前月比-44.1%）、過去平均比+83.2%、過去平均SD+2.2と例年より非常に多い（図表1）。

\*）中国では、病気のうち39の感染症を甲類で2つ（ペスト、コレラ）、乙類26、丙類11に分類。2013年11月1日に、乙類であった新型インフルエンザ:A(H1N1)pdm09を丙類のインフルエンザに集約し、乙類に鳥インフルエンザA(H7N9)を追加。2016年1月からは、ウイルス性肝炎の内訳にD型肝炎を追加。（本資料のウイルス性肝炎は、A型、B型、C型、D型、E型、その他肝炎を合算）

図表1 発病数

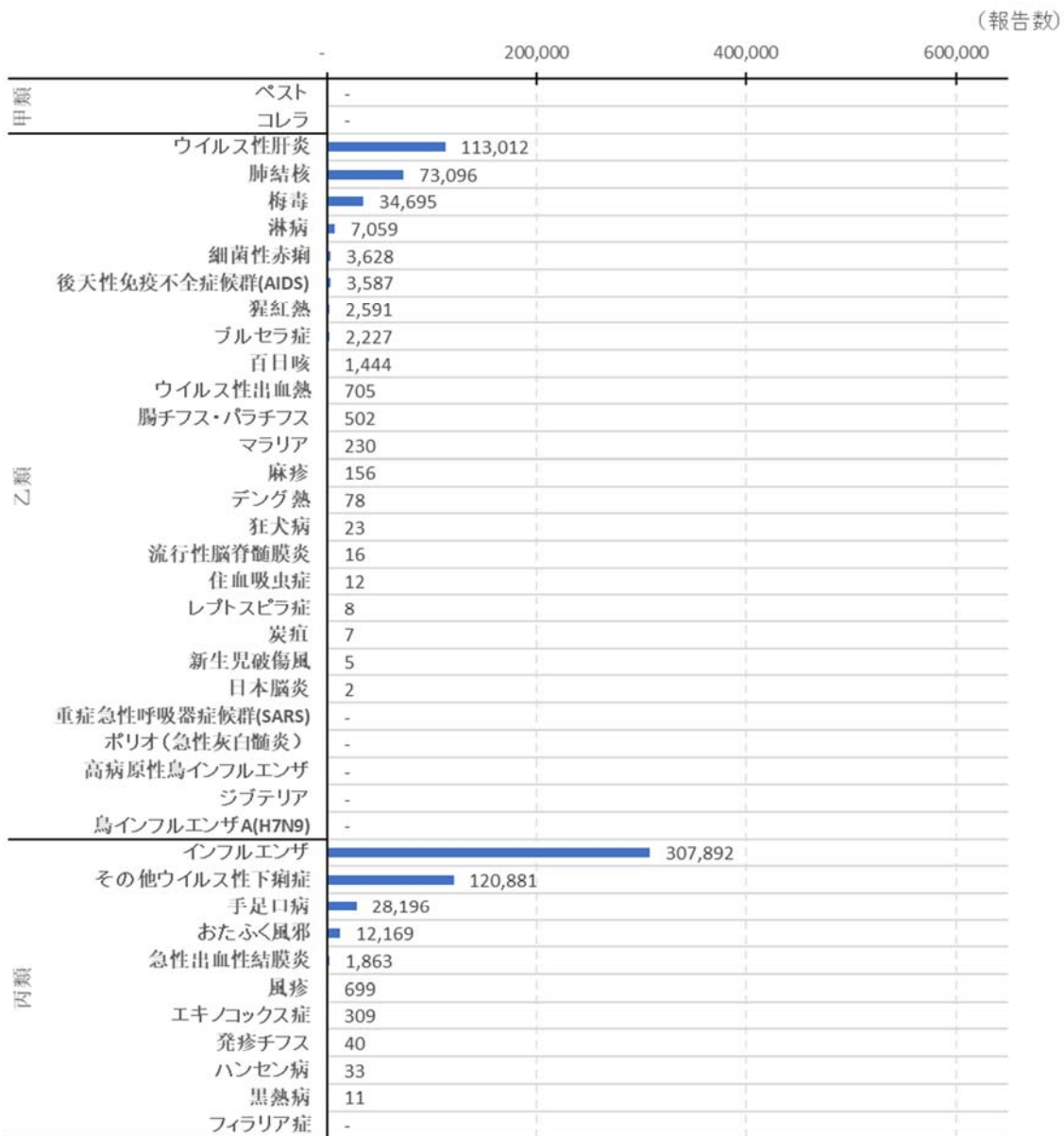


（資料）中華人民共和国国家衛生健康委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

■ 当月最も多く発生したのは「インフルエンザ」(発生数は例年と同程度)

感染症別では、インフルエンザが307,892件であり、前月比-49.4%。また、過去平均比(過去3年の同月および前後月の9カ月平均)では+294.3%、過去平均SD+2.9であり、発生数は非常に多い(図表2、図表3)。

図表2 感染症別：発病数(当月)  
〈類型別降順〉

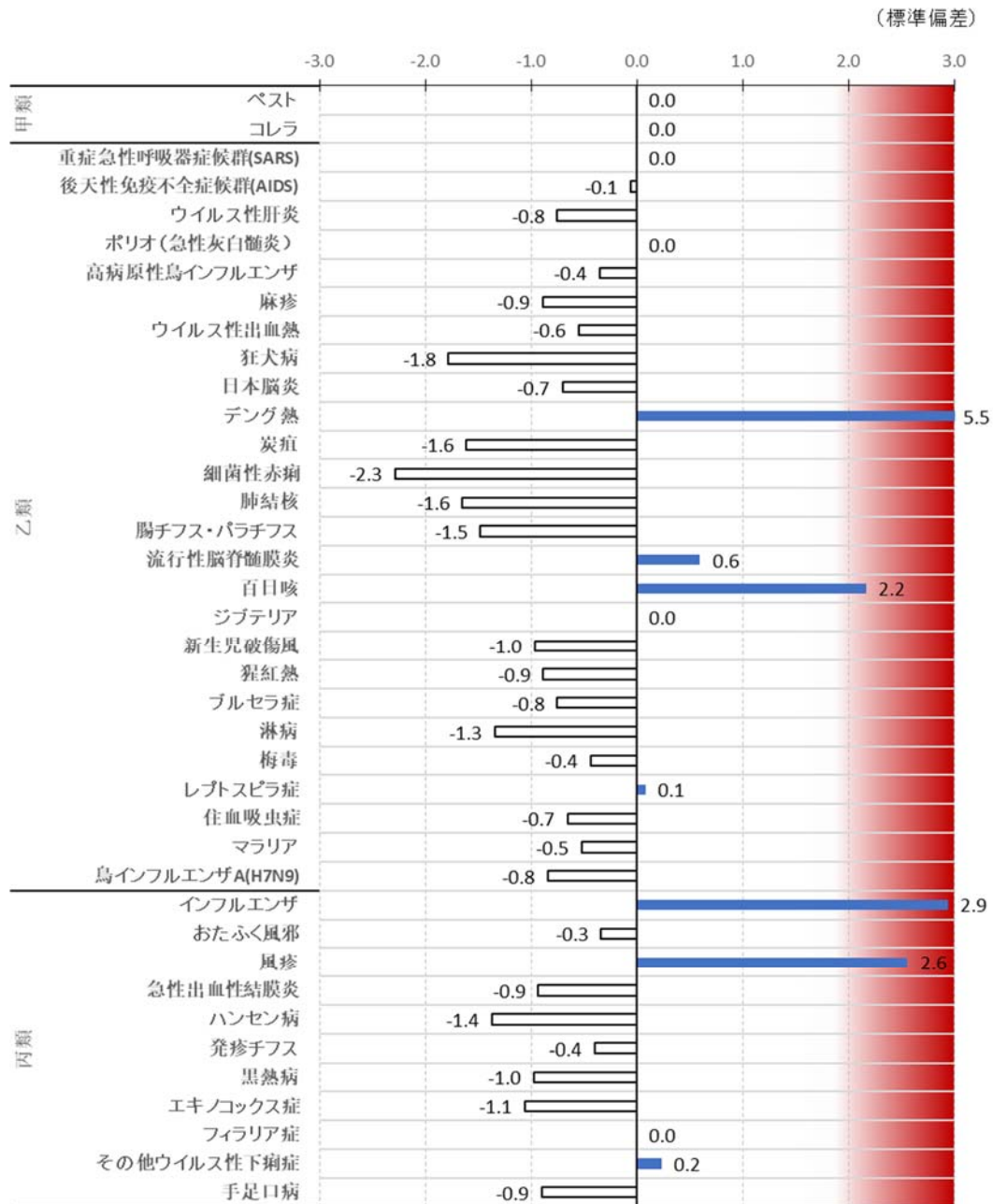


(資料) 中華人民共和国国家衛生健康委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

■4つの感染症が例年に比べ非常に多く発生

例年に比べ非常に多く発生（過去平均SDが+2.0以上）した感染症は、デング熱、インフルエンザ、風疹、百日咳の4つ（図表3）。

図表3 感染症別：過去平均SD（当月）  
〈統計記載順〉

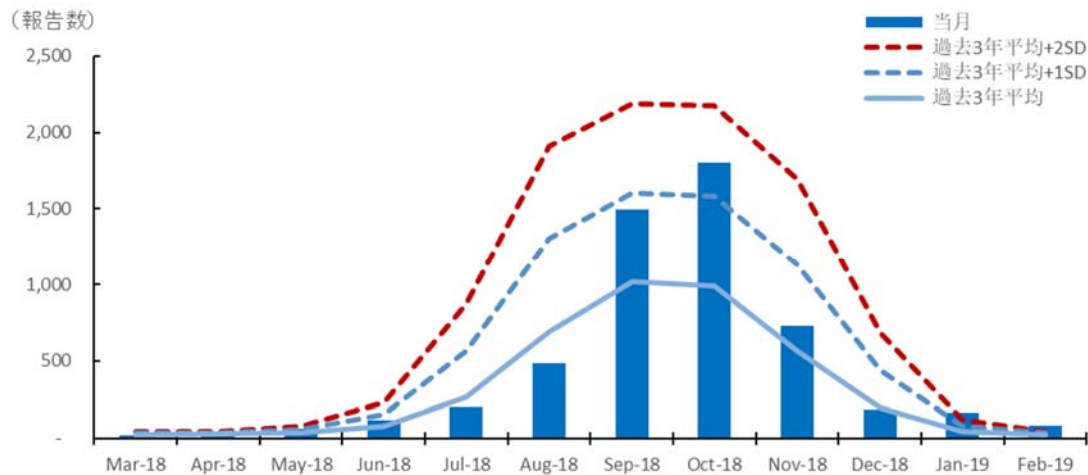


(資料) 中華人民共和国国家衛生健康委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成  
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD:標準偏差

■デング熱は2カ月連続で例年より非常に多く発生

デング熱は78件(前月比-52.7%)で、過去平均比+235.9%、過去平均SD+5.5であり、2カ月連続で例年より非常に多く発生(図表4)。

図表4 発病数(デング熱)

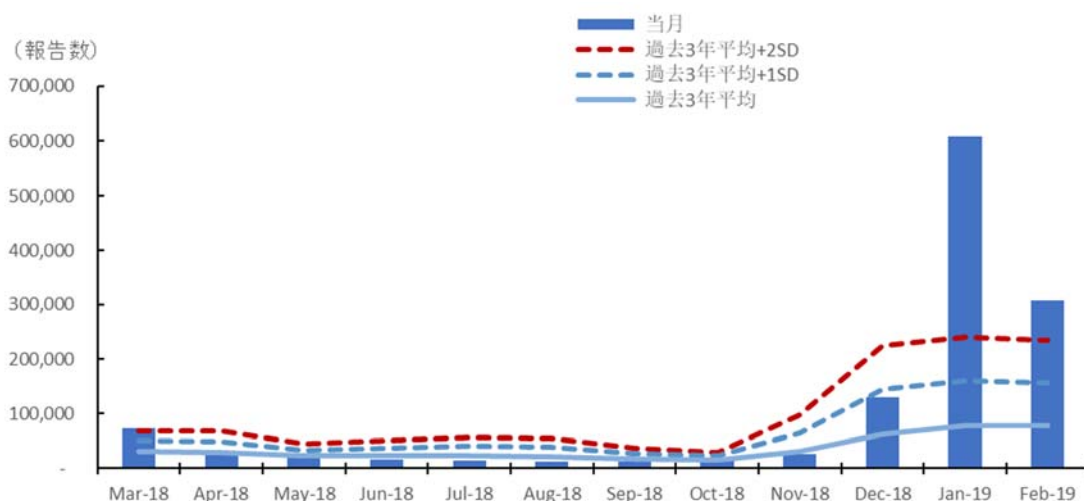


(資料) 中華人民共和国国家衛生健康委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成  
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD:標準偏差

■インフルエンザは2カ月連続で例年より非常に多く発生

インフルエンザは307,892件(前月比-49.4%)で、過去平均比+294.3%、過去平均SD+2.9であり、2カ月連続で例年より非常に多く発生(図表5)。

図表5 発病数(インフルエンザ)



(資料) 中華人民共和国国家衛生健康委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成  
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD:標準偏差

参考：発病統計表(2019年2月)

病名	発病数	病名	発病数
<b>甲乙丙類総計</b>	<b>715,176</b>		
<b>甲乙類合計</b>	<b>243,083</b>	<b>丙類合計</b>	<b>472,093</b>
ペスト	-	インフルエンザ	307,892
コレラ	-	おたふく風邪	12,169
重症急性呼吸器症候群(SARS)	-	風疹	699
後天性免疫不全症候群(AIDS)	3,587	急性出血性結膜炎	1,863
ウイルス性肝炎	113,012	ハンセン病	33
A型肝炎	1,465	発疹チフス	40
B型肝炎	90,985	黒熱病	11
C型肝炎	17,214	エキノコックス症	309
D型肝炎	27	フィラリア症	-
E型肝炎	2,280	その他ウイルス性下痢症	120,881
未分類型肝炎	1,041	手足口病	28,196
ポリオ(急性灰白髄炎)	-		
高病原性鳥インフルエンザ	-		
麻疹	156		
ウイルス性出血熱	705		
狂犬病	23		
日本脳炎	2		
デング熱	78		
炭疽	7		
細菌性赤痢	3,628		
肺結核	73,096		
腸チフス・パラチフス	502		
流行性脳脊髄膜炎	16		
百日咳	1,444		
ジブテリア	-		
新生児破傷風	5		
猩紅熱	2,591		
ブルセラ症	2,227		
淋病	7,059		
梅毒	34,695		
レプトスピラ症	8		
住血吸虫症	12		
マラリア	230		
鳥インフルエンザ A(H7N9)	-		

(資料) 中華人民共和国国家衛生健康委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

本内容照会先：リサーチ・コンサルティング部門(川崎真規、陳静宜) Tel: +86-21-6841-1288

本資料は情報提供を目的に作成されたものであり、取引の誘引を意図したものではありません。また、2019年3月25日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものであるが、内容に誤りがないことを保証するものではなく、情報の正確性・完全性・網羅性・商用性については、一切の保証をするものではない。

中国法定感染症発病概況 2019年2月

Copyright (C) 2019 The Japan Research Institute (Shanghai) Solution Co., Ltd. All Rights Reserved.